

端子盤、瞬時に結線

フジコン 配線接続部材に参入

フジコン（東京都大田区、大島石京社長、03・3755・5711）は、特許技術により結線端子を押し込むだけで瞬時に結線できる端子盤「UF7001」「UF7002」を10日に発売する。従来品に加え、Y形圧着端子対応など顧客の需要に応えるラインアップを追加した。これを皮切りに配線の不便を解決する配線接続部材を本格展開し、同事業で2025年度に5億円の売り上げを目指す。

作業時間4分の1に

従来の「UF650」新製品はY形圧着端子「1」は丸形圧着端子にも対応する。700のみ対応していたが、「1」はDIN（ドイツ工

業規格）レール取り付けタイプ。6501の新たなネジ取り付けタイプ。端子は上下の向きを問わず取り付け可能にした。



フジコンの特許技術である「瞬結」は、結線端子を端子盤の所定の位置に押し込むだけで結線できる。レバーを元の位置に戻すのみで解除

「UF7002」にY形圧着端子を差し込む配線接続では圧着端子をネジで端子盤に締め付ける方式が主流。工数が多く時間がかかるため、作業者の負担が大きい。同製品により結線時間を約3分の

1から4分の1に短縮する。また人によるバラつきや接続の緩みなども解決する。人手不足や作業者の高齢化が進む現場の効率化、省人化に貢献する。端子盤の製造販売を

手がけるフジコンは、配線の課題を解決し付加価値を提供する企業への移行を目指す。より幅広い顧客に向け、年内に瞬結端子盤のラインアップを拡充する計画。